

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-13 鎌倉・大船消防署警防活動事業						
	□支 援 部 門						
主管課	鎌倉・大船消防署警備課		関連課				
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	救急件数の少ないまちづくり、火災件数の減少を目指し、火災予防の啓発を図る。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)						
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	0					
	人員配置数	208.0	207.0	180.0			
	人 件 費(千円)	1,750,646	1,881,717	1,671,531			
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	1,750,646	1,881,717	1,671,531			
	市民1人当 りの経費(円)	9,878	10,619				
	対象者1人 当りの経費(円)			9,435			
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
消防力の充実	○	目標値	○	○	○	○	○
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	○	○	○	○	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24 決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要										

事務事業の課題及び取組状況

H24 年度の課題	世代交代に伴い、近年採用された多くの新人職員は、災害現場での知識・経験が不足しているため、当直中に訓練を実施するなどの教育に時間を要する。		
課題解決のための取組	当直中の訓練について、複数隊による実践的防ぎょ訓練を実施するなど効率的に実施した。	取組の結果	■解 決 □未解決
未解決の課題	訓練を実施するにあたり、災害出場が優先となるため、時間の確保に苦慮している。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性							
中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了	
		②妥当性			新人職員に対する訓練方法について、職員間で協議し、課題整理を行いながら、効率的・実践的に実施して行きたい。	課長等名	
		③有効性				A	消防総務課長
		④公平性					柿崎 雅之

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							